

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

地上業務委員会（第 45 回） 議事概要（案）

1 日 時 平成 29 年 10 月 25 日（水） 14:00～16:30

2 場 所 合同庁舎 2 号館 総務省 11 階 1101 会議室

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[専門委員]

三瓶 政一（主査）、小川 博世（主査代理）、足立 朋子、飯塚 留美、上村 治、
小泉 善子、川口 さち子、阪田 史郎、市川 武男、佐藤 孝平、田北 順二、
橋本 明、松永 彰

[関係者]

今田（KDDI）、小山（ARIB）、坂（東芝）、岩谷（NTT）、川本（三菱電機）、山崎
（三菱電機）、北原（MRI）、植田（ワシントンコア）、大槻（NTT）、鴨田（NHK）

[事務局]

（移動通信課新世代移動通信システム推進室）中里、川崎（大）、小橋、川崎（祥）
（基幹・衛星移動通信課）安澤、永井
（基幹通信室）佐々木、奥井

4 配 付 資 料

資料地-45-1 地上業務委員会（第 44 回）議事要旨（案）
資料地-45-2 ITU-R SG5 関連会合報告書（案）
資料地-45-3 ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地-45-4 ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）

参考資料 1 ITU-R SG5 関連会合の開催案内
参考資料 2 ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料 3 地上業務委員会構成員名簿

5 議 事 概 要

（1） 地上業務委員会（第 44 回）議事要旨について

【資料地-45-1】

地上業務委員会（第 44 回）の議事要旨について、事務局から説明があった。
修正等は、10 月 30 日までに事務局まで連絡することとされた。

(2) ITU-R SG5 関連会合等の報告について

【資料地-45-2】

事務局から、ITU-R SG5 関連会合等について報告があった。

(3) ITU-R SG5 関連会合等への日本寄与文書（案）について

【資料地-45-3-1】

KDDI 今田氏から、「新勧告草案 M.[MS-RXCHAR-28]に向けた作業文書の改定提案」について説明があり、エディトリアル修正の後承認された。

【資料地-45-3-2】

ARIB 小山氏から、「新勧告 ITU-R M.[ITS FRQ]「ITS の交通管理及び安全運転支援の改善を目指した情報交換のための周波数配置の調和」に関する作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、エディトリアル修正を施し承認された。

三瓶主査	p.3の表で第三地域に5.855-5.925GHz帯が書かれているのはなぜか。
小山氏	APTでは5.855-5.925GHzも用いられているためです。
市川構成員	700MHz帯の記載は提案しないのか。
小山氏	今後議論が熟してから提案すべきと考えている。
事務局	現在、700MHz帯はレポート案 (ITS USAGE) に入っておらず、また、各国は700MHz帯を携帯電話に使っているため、いきなり勧告で調和を目指すとハレーションが強いと考えられることから、まずはレポート案への追加を提案し、その状況を踏まえつつ、勧告へ追加していくかどうか判断したい。

【資料地-45-3-3】

ARIB 小山氏から、「新報告草案 ITU-R M. [ITS USAGE]「ITU 加盟国における ITS 情報通信システムの利用状況」に関する作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答があった後承認された。

上村構成員	シンガポールとの連名寄書とせず、セクションを分担し個別に提案するのはなぜか。
小山氏	連名の場合、承認プロセスが煩雑になるため。 今回は、通信関係部分はシンガポール、レーダー関係部分は日本で分担することにした。

【資料地-45-3-4】

ARIB 小山氏から、「WRC-19 議題 1.12 の CPM テキスト草案の修正提案」について説明があり、以下のコメント及び質疑応答があり、エディトリアル修正の後承認された。

- 小山構成員 和文のみ、Method を示す記号番号が間違っていた。Method A, B1, B2, and C を Method A, B, C, and D に修正する。
- 上村構成員 Proposal の部分も修正すべき
- 小山氏 同様に修正する。

【資料地-45-3-5】

東芝 坂氏から、「改定勧告案 ITU-R M.1652-1 の提案」について説明があり、以下のコメント及び質疑応答があり、エディトリアル修正の後承認された。

- 市川構成員 Annex 1 について、今回は NOC だが、今後も NOC のままか。
- 東芝坂氏 将来的には気象レーダーとの共用に向けて更新予定。今回はレーダーパラメータのみ追加。
- 市川構成員 Annex 1 に修正の必要がある場合は無線 LAN 関係者との協議が必要だろう。
- 三瓶主査 Revision が進むと、-1 → -2 のように文書番号を変えなければならないのか。文書が全部変更することになるのか。
- 橋本構成員 番号だけが書いてあるものについては最新のものをみるのが原則。今回はこの形式でよい。

【資料地-45-3-6】

NTT 岩谷氏から、「新報告草案 ITU-R M.[RLAN REQ-PAR]に向けた作業文書の修正の提案」について説明があり、案のとおり提案が承認された。(質疑応答なし。)

【資料地-45-3-7】

NTT 岩谷氏から、「新報告草案 ITU-R M.[RLAN SHARING]に向けた作業文書の修正の提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

- 三瓶主査 和文にある「条件下で共用可能」とは、英文でどうなっているのか。
- NTT 岩谷氏 台数制限、離隔距離の確保で共用可能ということ。
- 三瓶主査 ならば、和文も英文と同じように具体的に記載してほしい。
- NTT 岩谷氏 承知した。
- 三瓶主査 台数制限は理解が得られるのか。アンライセンスなのに台数は把握できないはず。日本の場合には問題ないと思うが、無線 LAN はそもそも登録できないと考えられている。そのなかで台数制限という形で記載するのは、議論がどうなるか注視すべき
- NTT 岩谷氏 登録制で管理できる。前回 5 月会合でも話は出ており。反論する国はなかった。
- 事務局 国内では登録局制度を導入することにより、台数管理することを検討している。

【資料地-45-3-8】

NTT 岩谷氏から、「WRC-19 議題 1.16 CPM TEXT 草案に向けた作業文書の修正の提案」について説明があり、以下のコメント及び質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 米国案 - 27dBm/MHz は、現実には多くの機器がぎりぎり大丈夫なのか。超えていてダメなのか。

NTT 大槻氏 超えている。

三瓶主査 保留して解決するのか。目処がないなら削除するよう提案すべきではないか。

岩谷氏 米国とも協議中であり、保留としている。

三瓶主査 スケアブラケットの中で、明確に削除を提案したらどうか。

大槻氏 現地で調整することとしたい。

【資料地-41-3-9】

三菱電機 川本氏から、「ITU-R 新レポート案 M.[RSTT.USAGE]に向けた作業文書の修正案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-45-3-10】

NICT 小川構成員から、「新レポート案 M.[RSTT.USAGE]に向けた作業文書の60GHz帯 RSTT と 90GHz帯 RSTT に関する改定案」について説明があり、承認された。(質疑応答なし)

【資料地-45-3-11】

三菱電機 山崎氏から、「ITU-R 新勧告草案 M.[RSTT]に向けた作業文書の改定案」について説明があり、以下の質疑応答の後承認された。

橋本構成員 Region 3 のセクションのみ詳細に提案しているが、他地域のセクションも同様の粒度で作業が進む見込みなのか。

山崎構成員 2018年12月に作業計画では完成。日本も参加しうまく進むよう作業する。Recommends は、日本の技術を Region 3 に限らず出していく。

【資料地-45-3-12】

NICT 小川構成員から、「90GHz帯 RSTT の共存に関する新レポート草案 M.[90-GHZ.RSTT.COEXIST]に向けた作業文書の改定案」について説明があり、以下のコメント及び質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 議題 1.11 関連の検討と並行して共用検討の提案をする理由は、90GHz帯 RSTT にネガティブな意見が多いためか。

小川構成員 隣接帯域の受動サービス等との共用検討を行うことで、90GHz帯 RSTT を推進するため。なお、前回会合において、共用検討は議題 1.11 のスコープ外とされた。

上村構成員 90GHz帯 RSTT は、既に議題 1.11 関連文書へ提案されているのか。

小川構成員 そのとおり。

【資料地-45-3-13】

NICT 小川構成員から、「勧告 M.2003-1 の改定草案の格上げ提案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-14】

NICT 小川構成員から、「勧告 M.2227-1 の改定草案の格上げ提案」について説明があり、和文を修正することとし、承認された。

【資料地-45-3-15】

NICT 小川構成員から、「新レポート草案 M.[300GHz_MS_CHAR]の格上げ提案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-15】

NICT 小川構成員から、「新レポート草案 M.[300GHz_MS_CHAR]の格上げ提案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-16】

MRI 北原氏から、「新 ITU-R 勧告・報告草案 [UAV CNPC CHAR]に向けた作業文書の修正提案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-17】

NICT 小川構成員から、「新レポート草案 M.[FOD 92-100 GHZ]に向けた作業文書の改定案 - 92-100GHz 帯で運用する異物破片(FOD)検出システムの技術運用特性」について説明があり、以下の質疑の後承認された。

小川構成員 航空海上移動WGの後ではあるが、本寄書の明確化のため、図表などを追加した寄書に修正したい。

三瓶主査 寄書の更新はできるのか。

事務局 10/30 の入力〆切までにメール審議で了解を得る。

三瓶主査 航空海上移動WGにも了解を得る必要がある。

事務局 WGも含めて本日メール審議を開始する。

橋本構成員 本件の業務は Radiolocation として問題ないのか。

小川構成員 そのつもりではあるが、詳細は現地にて整理、調整したい。

橋本構成員 関連の報告として記載されている3つの ITU-R 勧告のうち、F.1332 以外は関連が薄いのではないか。

小川構成員 F.2239 は大きく参考となる部分がある。F.2004 は関連が薄いので削除する。

【資料地-45-3-18】

全工協 田北構成員から、「WRC-19 議題 1.9.2 の CPM テキスト草案に向けた作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑の後承認された。

三瓶主査 ロシアが反対の意を示しているのか。

田北構成員 ダウンリンクの周波数を決めるのは時期尚早とのこととされている。本提案は衛星利用のための周波数や技術的条件等を提案するものであるため、議論の進展に繋がるものとする。

【資料地-45-3-19】

ワシントンコア 植田氏から、「暫定改定勧告案 ITU-R M.1849 の上程の提案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-20】

NTT 大槻氏から、「ITU-R 勧告 F.1105-3 に対する改訂提案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-21】

NTT 大槻氏から、「ITU-R 勧告 F.758-6 改訂草案に向けた作業文書に対する修正提案」について説明があり、以下の質疑の後、エディトリアル修正を施しく承認された。

橋本構成員 本件はまだ作業文書なのか。

大槻氏 まだ議論が残っている部分があり、作業文書のままである。

【資料地-45-3-22】

NTT 大槻氏から、「ITU-R 勧告 F.1249-4 および F.1509-3 の改訂に関する提案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-23】

NHK 鴨田氏から、「ITU-R 報告 F.2323-0 改訂案」について説明があり、特に質疑なく承認された。

【資料地-45-3-24】

NICT 小川構成員から、「新レポート草案案 M.[300GHz_FS_CHAR]の格上げ提案」について説明があり、以下の質疑の後承認された。

橋本構成員 WP5C からリエゾン経由で WP1A 議題 1.15 関連に送ると理解。I/N protection criteria が F.758 を参照とあるが、F.758 を参照しても場合分けしてあり、分かりにくいのではないか。

小川構成員 WP1A の方では削除されており、FS protection の議論はしない。今

後、WP5C で議論したい。

(4) ITU-R SG5 関連会合への対処方針案への対処方針案について

【資料地-45-4】

事務局から、ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(5) その他

事務局より参考資料の説明があった。本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、10月26日（木）を目途に事務局に提出することになった。また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りで文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。外国寄与文書の対応については、日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨説明があり、承認された。

以上